桜ヶ丘だより

発　行
岐阜県立関高等学校
同窓会会長河合定彦

印　刷　所
ムトウプリント

豪華な新校旗　同窓会より寄贈

新制高校発足当時より親しまれて来た母校の校旗も、三十数年もの星霜にいたみも激しく、この度、新しい校旗が同窓会より学校へ贈られました。

これまでの校旗にくらべ新校旗は一まわり大きく、房の長さも倍ほどで、校章の部分は金糸銀糸を配色し一段と豪華になりました。

二月二十八日、全校の生徒を前に贈呈式が行われ、河合定彦会長より後藤勝校長へ手渡されました。校旗の値段は約百万円で、早速本日の卒業式に壇上を飾りました。

二七一名が新同窓会員に

本校の卒業生は高女計二九六九名、高校計一〇五一〇名の合計一三四七九名であったが、五十九年度卒業生二七一名（男一四七名、女一二四名）が加わり、総計一三七五〇名となった。新会員の入会式は二月二十八日に厳かに行なわれた。

活躍中の同窓生二氏より絵画寄贈

絵画界で活躍中の同窓会員二氏からそれぞれの自作品が母校へ寄贈されました。

一点は**石原通男**氏からで、高校第６回卒の氏は現在美濃教育事務所の指導主事の要職にあって活躍されています。ブルーを基調にした抽象画を寄贈されました。

他の一点は同じ高校第６回卒の**小本章**氏から。昨年秋に、新進版画家の発掘と育成、現代版画の啓もうを目的とした第二回西武美術館版画トリエンナーレの大賞を受賞、今後の活躍が期待されています。

二点とも校長室に飾られています。母校訪問の折にご覧下さい。

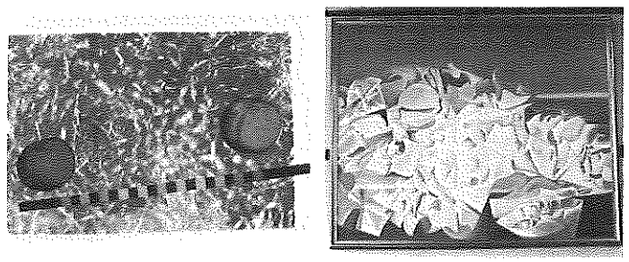
〝よろしく〟二支部長新たに決まる

このほど次のように二支部の支部長が新たに決定しました。

東京支部長　後藤けい子氏
横浜市戸塚区戸塚町一八三七―一七（電話０４５・８７１の４０７２）

名古屋支部長　村瀬尚男氏
名古屋市中村区鳥居西通二丁目九番地の一（電話０５２・４１１の６３５２）

ちなみに両氏共、高校第11回生で、後藤さんは旧姓西村けい子さん、村瀬氏は村瀬尚男法律事務所の弁護士さんです。



寄贈された小本章氏の作品（左）と石原通男氏の作品（右）

59年度 部活動状況

〈陸上部〉
〈東海大会県予選〉
男子一六〇〇㍍リレー　二位
男子一一〇㍍ハードル三位石原
男子やり投げ　三位　洞口
男子四〇〇㍍リレー　四位
（以上東海大会出場決定）
〈県高校混成競技大会〉
男子五種　二位石原泰三　三二〇九点（県高校新）
〈県高校総体〉
男子五種　一位石原泰三　三一八三点（大会新）
〈全国高校混成競技大会〉
男子五種　十五位石原泰三　三二六〇点（県高校新）
〈第三五回県高校駅伝競走大会〉
九位入賞　二時間二一分一一秒（チーム新）
（名岐駅伝出場権獲得）
〈第三九回名岐駅伝大会〉
十七位　一時間五五分四三秒
〈水泳部〉
〈中濃地区高校総体〉
男子総合一位　女子総合一位
〈柔道部〉
〈中濃地区大会〉
団体　優勝
〈中濃地区総体〉
団体　優勝
〈野球部〉
〈春季地区大会〉
優勝
〈春季大会〉
県ベスト八位
〈夏季大会〉
県ベスト八位
〈県下選抜大会〉
中濃・飛騨地区ベスト三位
（県大会出場）
〈体操部〉
〈中濃地区大会〉
女子　団体総合　一位
女子　個人総合　一位松田明代
〈剣道部〉
〈春季高校剣道大会〉
女子団体　優勝
〈東海高校総体県予選大会〉
女子個人優勝　永瀬幸
〈東海高校総合体育大会〉
女子団体　三位
〈東海大会〉
女子団体　三位
〈全国大会〉
女子個人　永瀬幸（二回戦進出）
〈ラグビー部〉
〈全国高校大会県予選〉
県ベスト八位
〈新人戦県大会〉
県ベスト八位
〈サッカー部〉
Ａブロック昇格
〈新人戦県大会〉
県ベスト八位
〈バレー部〉
〈中濃地区新人戦一次予選Ａブロック〉　男子　優勝
〈コーラス部〉
〈ＮＨＫ全国学校音楽コンクール〉
岐阜県大会優良校入賞（三位）
〈全日本合唱コンクール〉
岐阜県大会銅賞
第八回全国高校総合文化祭出場（県代表）
〈ブラスバンド部〉
〈中部日本吹奏楽コンクール〉
岐阜県大会準優勝
〈美術部〉
波多野篤　全国高校総合文化祭
岐阜県代表に選抜
県展入選　波多野篤・井上奈美子・伊藤淳子
〈書道〉
第八回全国高校総合文化祭出品
田畑智子・古川浩史
県展入選　河村千穂・田畑智子
古川浩史

新会員のクラス委員一覧

昨日入会式を終えた新会員二七一名のお世話をしていただくクラス委員が次のように決まりました。（敬称略）

三年一組　服部　浩司
古田　勝弘
二組　○真常　隆広
内木　優子
三組　山田　善之
広瀬　道子
四組　高階　利昭
山口ちひろ
五組　浅見　和人
足立　智美
六組　服部　幸広
○荘加　真美

○印は第37回生幹事です。よろしくお願いします。

昭和59年度 進路状況

〈就職はほぼ前年並み〉

本年度の就職関係の特徴は、公務員関係が例年よりも好成績が上ったことで、特に難関の県職員は三名そろって合格。公務員試験合格者数は昨年度の16名から29名と倍増しました。全体では就職希望者27名がほぼ順調に決まりました。内、事務系が22名となっています。

〈国公立大共通一次受験者は全体の五〇％の一三六名〉

本年は六学級という少人数の中で国公立共通一次試験にほぼ半数の一三六名が受験し、数日後に控えた二次試験の結果が楽しみです。

また推薦入学は、新たに同志社大学（商学部）が指定校となり、本校生の進学実績や進学後の活躍いかんで更に窓口が増えてくることが期待されます。

私立大学、短期大学はほとんど受験が終り、連日新聞紙上に発表されていますが詳細は本校一階の廊下に掲示されていますので、春休み等御来校の折にごらん下さい。各種専門学校、就職者も併せて掲示しています。

おくやみ

坂井正義先生

昭和六十年二月十九日、肺ガンのために逝去されました。七十三才。昭和25年～38年関高教諭。その後土岐高校長、多治見工業高校長、鶯谷女子高校長などを歴任されました。ご冥福をお祈りします。